



(題字 : 6 年 佐藤 楓音)

令和4年2月1日

No. 97 号

山形市立第四小学校
校長 日高 伸 哉
〈児童数 192名〉

TEL 623-6019

暦も2月、如月（きさらぎ）となりました。今週2月3日(木)は節分、翌4日は「立春」です。まだ寒い日が続くようですが、春はそこまで来ているようです。しかしながら、オミクロン株のコロナウイルス感染拡大が続いています。気を抜かずに、感染防止対策の徹底が望まれます。マスクの着用と手洗いの励行は必須です。

2/1 全校 TV 朝会 校長講話 金子みすゞ詩集作品より

“ わたしと小鳥とすずと ”

“ 星とたんぽぽ ”

～見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ～

本日も、校内 TV 放送を活用しての全校朝会（校長講話）となりました。以下、講話の概要です。

二月（如月きさらぎ）に入りました。まもなく節分（2／3）ですね。

今日は、皆さんに、是非、聴いてほしい詩があります。3年生以上の皆さんは、国語の教科書で習っている詩ですから、知っていると思います。

この詩の作者、金子みすゞさんは、明治36年に山口県に生まれました。本校の開校が明治44年ですから、本校の開校よりも前ですね。

金子みすゞさんは、童謡詩人で、たくさん詩を書き残しています。その中の1つが「わたしと小鳥とすずと」です。読んでみます。……

「みんなちがって、みんないい。」

校長先生は、ここが一番好きです。皆さんは、どうですか。

わたしと小鳥とすずと
金子みすゞ
わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう
地べたをはやくは走れない。
わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう
たくさんうたは知らないよ。
すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

私たちも、一人ひとり、みんな違います。お名前も、生まれた日も、住んでいるところも、身体の大きさも・・・、そして大切な心も。みんな違うからこそ、尊^{とうと}いんですね。

一人ひとりが違うからこそ、尊いんですね。違うことが当たり前とできる第四小学校だからこそ、本物の学習ができるのだと思います。

ですから、「みんなちがって、みんないい。」そういう気持ち^{しきひつ}をより確かに持って、生活を充実してゆきたいものです。ここに、金子みすゞさんの直筆の絵はがきがあります。小さいですが、TV 画面で見えますか。山口県長門市に記念館があって、そこに旅行に行かれた友人（教員）がわざわざ買ってきてくれたものです。大切にしているものです。

金子みすゞさんの詩で、もう一つ、皆さんに是非聴いてほしい詩があります。

これは、教科書には載っていませんが、いちようブック館で読んだお友達もいるかもしれません。

読んでみます。・・・・・・

「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」

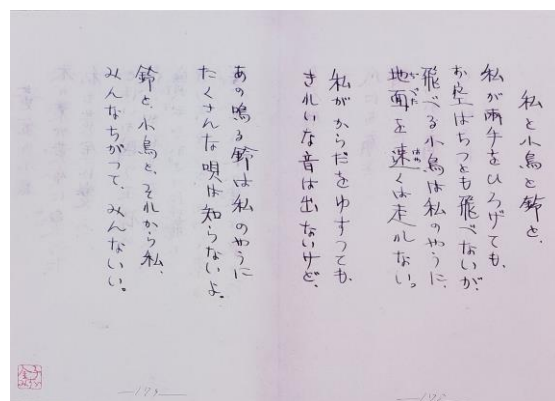
星やたんぽぽは見たことがありますね。でも、昼のお星様やたんぽぽの根は、なかなか見えません。でも、ちゃんとあるんですよ。

「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」

ここが大事なんですね。見えないけどある。見えぬものでもある。世の中にあるすべてのものが見えるわけではありません。いちようの子の「一人ひとりのよさ」も見えるものと見えないものがあるでしょう。見えないからないのではありませんね。見えなくてもあるんです。「心」を込めて、「思いをはせて」みれば見える、ここが大切です。ですから、皆さん一人ひとりの「心」を大切に、「真心（まごころ）」を込めて、見えないものをしっかり見て生活してほしいと願っています。

見えぬものでも、しっかりと「心の眼」で見えていける3学期後半にしてゆきましょう。では、お話を終わります。

星とたんぽぽ
金子みすゞ
青いお空のそこふかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまでしずんでる、
昼のお星はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。
ちつてすがれたたんぽぽの、
かわらのすきに、だアまって、
春のくるまでかくれてる、
つよいその根はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。



↑ 金子みすゞさんの直筆